

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139



今月の表紙は、10月13日(火)に荻谷小学校の西側の畑で、幸田保育園の園児がサツマイモの芋掘りを体験した時の写真です。このサツマイモは、若手農業者団体の4Hクラブが準備し、6月に園児と一緒に植えたものです。土とイモに触れ、大量のイモに大興奮の園児でした。

今月の表紙

幸田の民話

ふるつつみ
「古堤池の山んぼう」
芦谷

芦谷の東の山、ねぎ山のふもと
の古堤池は、今ではもうすっかり
整備されていて、リっぱな池に
なっているけれども、むかしはア
シがいっぱい生え、とろんと水が
よどんでいて、おそろしいほどの
池でした。

「古堤池に遊びに行っ
てはいかんぞ。山んぼうが
いるで。」
と、子どもたちはよくいわれた
ものでした。

山んぼうというのは、2メ
ートル50センチくらいの棒で、
山仕事に行くときには必ず持
っていくものでした。山から切
りだしたもや(たきつけにする
小枝)を、両はしに2わずつ
しばって、かつぐ棒のことです。

ある年の秋のことでした。
ある芦谷の人が、
「もう草が
かされた。風呂のたきつけの
枯草を刈りに行ってこよう。」
と、古堤池に草を刈りに行
きました。
サクッ、サクッと、堤防の
枯草を

刈っていると、山んぼうの
ようなぼうが落ちてくるのに
気がつきました。

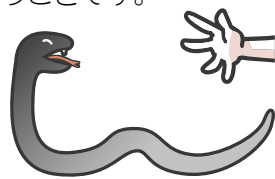
「だれだろな。こんなと
ころに山んぼうを忘れてい
って。」

そういいながら、ぼうを
拾おうとしたとき、大きな
ヘビがかま首をもたげ、
シューシューと息を吹きか
けたではありませんか。

「出たあ。山んぼうだ。」

その人は、持っていった
ものもほったらかしにして、
いちもくさんに家に逃げ帰
りました。そうして、ふとん
をひっかぶり、「ああ恐ろし
い…。山んぼうだ。あの目
がわしをにらんどる…」
などといいつつ、がたがた
ふるえていました。

その人は、間もなく亡く
なられたということです。



(「こうたの民話」の要約)



【名鉄7035系】

深溝小1年 岩瀬 陽希 くん

みんなの作品展!

下の作品は、幸田学童書道展からのセレクトです。



【書道】

荻谷小6年 福間 祐希 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今月の記念日

11月1日は「紅茶の日」

海難に遭ってロシアに漂着した日本人の船主、大黒屋光太夫が、1791年の11月、女帝イカテリーナ2世に接見。茶会に招かれ、日本人として初めて外国での正式な茶会で紅茶を飲んだという史実を基に、11月1日が「紅茶の日」と定められました。日本紅茶協会では毎年この日に、音楽やトークショーと一緒に紅茶を味わうイベントを開催しています。

日本が初めて紅茶を輸入したのは明治20年。原産地の中国からではなく、イギリスからでした。かつては日本でも生産されていた紅茶ですが、輸入が自由化された昭和46年以降、日本で販売される紅茶は輸入品に切り替わり、紅茶の消費量も、バッグの導入や缶入り紅茶ドリンクの開発などをきっかけに飛躍的に増えました。

日本紅茶協会のウェブサイトで「お湯は沸騰直後のものを」「カップは内側が白く、香りが広がりやすい浅いかたちのもの」など、おいしい紅茶の入れ方が解説されています。「季節のおいしいレシピ」では、季節ごとの食材やイベントに合わせたおいしい紅茶のレシピを紹介。また、同協会が認定した全国のおいしい紅茶が飲めるお店の情報も掲載されています。

※資料：日本紅茶協会 <http://www.tea-a.gr.jp/>



青春トークリレー

△△第200走者△△

長谷 悠司 さん

桐山区在住 25歳 大学生

身長 171cm A型

好きなタイプ 優しい人

好きな芸能人 松本人志

最近ハマっていることは自転車です。休日には、日帰りによくサイクリングにでかけます。景色を楽しみながら、風を感じるのがとても気持ちがいいです。

夢は、世界中を旅することです。今まで、海外に行ってみて、新しい出会いがありました。一步外に出てみると、景色も人も考え方も違い、自分にプラスになることだらけです。だから、また新しい刺激を求めて、世界に旅立ちたいです。

幸田に生まれて、下宿の1年をのぞき、ずっと幸田に住んでいます。いろいろな場所を見てみてもやっぱり幸田が大好きです。将来、少しずつ都会化が進むと思いますが、自然と人はずっとあったかい幸田町のままであってほしいです。



掲載写真を印刷してプレゼント。希望者は企画政策課まで。



今年春、畑の地主さんと4Hクラブのお兄さんたちの協力で、広い畑一面にサツマイモ、カボチャ、落花生の苗を植えました。荻谷小学校の隣の畑は遠いので、草取りや水やりがいつもできないのですが、今年はとてもラッキー！4Hクラブのお兄さんたちがすべて手伝ってくれて、かつて見たことのない大収穫。カ

ボチャは大きなコンテナ4杯、サツマイモは小さなコンテナ11杯も収穫でき、ほかの保育園と支援センターにおすそ分けしました。カボチャの収穫は4Hのお兄さんに手伝ってもらって年長見で行いました。子どもたちは大喜びし、みんなでコンテナに山ほど積んでワッセ、ワッセと保育園に運んできました。給食では、とういてい食べきれないので、年長見は大きなカボチャを一個ずつ家に持ち帰りました。



トして園に持ってきてくれました。「おいしそ〜！」とみんなに言われ、とても嬉しそうでした。ほかのお友だちはどんな風に食べたのかな？

ヤッター！カボチャとサツマイモの大収穫！

わんぱくだより
「某月某日」
「幸田保育園」

▼あつという間に今年も残り2カ月となりました。年賀状を購入し、準備をしなければと思っている今日この頃です。来年の手帳も購入しなければ…

さて、息子(4年生)は友だちとの遊びが忙しく、あまり私とは遊んでくれなくなりました。少し寂しいような…。子ども会のソフトボール練習を一緒にやっているから、まあいいか。で今月も娘(年長)との会話を紹介します。家の近くの美容院へ2人で行き、さっぱりしてきました。(髪の毛は少なくなってきましたが美容院に行っています。おじさんの細い髪の毛を丁寧に切ってくれて感謝しています。)父(〇〇(娘の名))は、髪の毛を切るとすぐ変わるね。娘「お父さんもちょっとだけ変わるよ！」父「ありがとう！それにして髪を切って、本当にかわいくなっちゃったね。」娘「ありがとう！お父さんも、かっこよくなったよ！」父「えっ？(泣)娘「でもかっこよくなったなんて、たまにしか言わんでね！」父「:(」つぼを心得ている)」子どもから学ぶこといと多し！(R)

▽寒くなったなと思ったら、さっそく風邪をひいてしまいました。11月7日は立冬ですね。陰暦の季節の区分では、来年2月4日の立春までの間を「冬」と呼ぶそうです。冬到来です。身も心も温まるよつな生活を心がけたいですね。(M)

ちよと
編集者の
ひびく